

中京大学スポーツ

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

2016 (平成 28) 年

11月29日

第14号

◎ 発行 中京大学
〒466-8666
名古屋市中昭和区八事本町 101-2
■ 広報部
TEL 052-835-7135
■ スポーツ振興部
TEL 0565-46-6935
http://www.chukyo-u.ac.jp

東京五輪へ精鋭始動

100バタ川本武史選手 インカレで快記録



インカレの100バタフライで大会新を樹立した川本選手。上は会心の飛び込みをした同選手。下は新記録を確認し、こぶしを突き上げる同選手（法1 川越慈彦撮影）

高の泳ぎを披露した。本選手権で2位になった際の52秒36を更に1秒余りも上回った。もちろんリオ派遺標準記録の51秒64も軽くクリアする記録だった。

もともと、バタフライと背泳ぎでは国内一、二のスピードを誇る。リオ五輪選考会では前半をトップで折り返し、終盤にかわされる展開で涙を呑んだ。

いち早く気持ちを切り替え、目標を4年後の東京オリンピックに置いた川本選手はこの夏、リオ五輪を研究し、自身にもできそうなことを取り入れようと考

「インカレは個人よりもチーム総合成績に重点を置いて頑張ります」と、100バタフライ、背泳ぎ（以上優勝）、400バタフライ、リレー（3位）、メドレーリレー（2位）と4種目で表彰台に上ったが、そんな中で大会関係者、観客を驚かせたのが大会記録で優勝した100バタフライだった。

51秒34はリオ五輪の6位入賞に値するタイムだ。自己記録を0秒55、リオ五輪選考会を兼ねた4月の日

「インカレの100バタフライで大会新を樹立した川本選手。上は会心の飛び込みをした同選手。下は新記録を確認し、こぶしを突き上げる同選手（法1 川越慈彦撮影）」

「季節がもう一度夏に戻ってほしいです」。陸上競技棒高跳びの鈴木康太選手（スポーツ科3、岡崎城西）はこう言っている。今シーズンの終了を惜しんだ。充実のシーズンの中でも特に印象に残るのが、9月上旬、埼玉県熊谷市で開かれた日本学

生対校選手権大会（インカレ）。決勝は終盤、3選手の争いとなった。

5月40。鈴木選手の自己記録と同じ高さを超えた2人が先にクリアし、鈴木選手は2度バールを落とす。3回目に成功しても同記録ながら3位に甘んじることにな

る。鈴木選手は5月40をバールの高さを5センチ上げの選択をした。

「二か八かというような感じではなかったです。その時の心境をもう振り返った。40に2回失敗しましたが、手ごたえをつかんでい

たんです。握りを少し上げれば」と。5月45。仲間たちの大声援の中、流れるような助走から見事にバールを越え、その年の世界選手権ベストスコア（6位入賞）を果たした。

1か月後、岐阜市の長良川陸上競技場で行われた東海学生秋季選手権でインカレの記録をさらに6センチ上

えた。聖彦さんの跳躍を見る

「インカレの結果は自信になりました。4年後に向かつては「目の前のことを確実にこなし、世界と比べた時に自身の突出しているものは何かを探しながら進んでいきたい」と書き真を描いている。

当面の目標は「日本記録（51秒00）を破ること」。東京五輪で勝負するには「49秒5程度が必要」とみている。もちろん表彰台が目標だ。（現代社会2 小林菜生子）

棒高鈴木康太選手 記録更新中

「インカレの100バタフライで大会新を樹立した川本選手。上は会心の飛び込みをした同選手。下は新記録を確認し、こぶしを突き上げる同選手（法1 川越慈彦撮影）」

「季節がもう一度夏に戻ってほしいです」。陸上競技棒高跳びの鈴木康太選手（スポーツ科3、岡崎城西）はこう言っている。今シーズンの終了を惜しんだ。充実のシーズンの中でも特に印象に残るのが、9月上旬、埼玉県熊谷市で開かれた日本学

生対校選手権大会（インカレ）。決勝は終盤、3選手の争いとなった。

5月40。鈴木選手の自己記録と同じ高さを超えた2人が先にクリアし、鈴木選手は2度バールを落とす。3回目に成功しても同記録ながら3位に甘んじることにな

る。鈴木選手は5月40をバールの高さを5センチ上げの選択をした。

「二か八かというような感じではなかったです。その時の心境をもう振り返った。40に2回失敗しましたが、手ごたえをつかんでい

たんです。握りを少し上げれば」と。5月45。仲間たちの大声援の中、流れるような助走から見事にバールを越え、その年の世界選手権ベストスコア（6位入賞）を果たした。

1か月後、岐阜市の長良川陸上競技場で行われた東海学生秋季選手権でインカレの記録をさらに6センチ上

えた。聖彦さんの跳躍を見る

「インカレの結果は自信になりました。4年後に向かつては「目の前のことを確実にこなし、世界と比べた時に自身の突出しているものは何かを探しながら進んでいきたい」と書き真を描いている。

当面の目標は「日本記録（51秒00）を破ること」。東京五輪で勝負するには「49秒5程度が必要」とみている。もちろん表彰台が目標だ。（現代社会2 小林菜生子）

大会 リオ大会 松田、佐藤選手 銅メダル 寺本選手 団体・個人入賞

今夏のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックに中京大関係の選手8人、コーチ2人の計10人が陸上、競泳、体操、ラグビーの4競技に参加した。うち競泳の松田丈志選手（2008年度体育学修士修了、セガサミー）が800バタフライで、パラリンピック陸上400バタフライで佐藤圭太選手（13年度体育卒、た体操女子の寺本明日香選手）と話ししており、日本

手（スポーツ科3、名経大市野）は、団体4位、個人総合8位と両種目で入賞を果たした。体操女子の団体ベスト4は、1968年メキシコ大会以来48年ぶりの個人総合入賞は64年東京大会以来52年ぶりの快挙だった。

寺本選手は「20年東京五輪にもぜひ頑張りたい」と話し、日本

代表チームを率いた坂本周次ヘッドコーチ（76年度体育卒、レジックスポーツ代

表）とともに2020年東京五輪では、表彰台への期待が高まる。

陸上十種競技の中村明ツ科卒、住友電工、競泳



男子100バタフライの長谷川純矢選手（15年度スポーツ科卒、ミキハウス）、ラグビー7人制女子に出場した桑井亜乃選手（11年度体育卒、アルカス熊谷）らは健康及び、予選で敗退した。いずれの選手も東京五輪での巻き返しを目標にすでに始動している。

男子100バタフライの長谷川純矢選手（15年度スポーツ科卒、ミキハウス）、ラグビー7人制女子に出場した桑井亜乃選手（11年度体育卒、アルカス熊谷）らは健康及び、予選で敗退した。いずれの選手も東京五輪での巻き返しを目標にすでに始動している。

競泳の佐々木祐一郎（93年度体育卒、中京大行政職）は五輪後も代表コーチを務め、4年後の連続出場の可能性十分だ。写真見は、リオで奮闘した寺本選手（AP/アフロ）



記録更新の期待がかかる鈴木選手

中京大学のスポーツ情報 大学HPの「スポーツ」(http://sports.chukyo-u.ac.jp/)、facebook「スポーツ振興部」(左下QRコード)で紹介しています。

「中京大学スポーツ」に関するご意見は、スポーツ振興部(sports@mng.chukyo-u.ac.jp)へお寄せください。

題字は榎本樹郎先生(中京大学名誉教授)揮毫

インカレ2連覇

女子アルティメット 優勝10回は全国最多



インカレ決勝戦用のユニフォームを着た選手たち

強さの秘訣は先輩との絆

アルティメット部女子がインカレ2年連続10回目の優勝を成し遂げた。10月3日、東京・駒沢オリンピック公園で行われた第27回全日本大学アルティメット選手権大会の決勝戦で、最大のライバル、日本体育大を接戦の末、10-8で破った。優勝回数も日体大と並びトップになった。最優秀選手(MVP)には中島佳奈子選手(スポーツ科4、津山)が選ばれた。岡田美久主将(スポーツ科4、西春)は「OG、OBの人たちが練習に常に姿を見せてくれるのが中京の強さの秘密。優勝で心えることができうれしい」と笑顔を見せた。

インカレは部員たちが年間でも最も力を入れる大会だ。9月上旬の中部地区予選(静岡岡原掛川市)で4試合全てを圧勝で勝ち抜き、9月下旬の本戦の予選リーグ(同県富士市)を首位で勝ち

上がった。決勝トーナメント準々決勝で早稲田大に7-6、準決勝の上智大には7-5と接戦をものにして決勝戦へコマを進めた。日本大戦は、インカレ決勝でしか着用しない黒のユニホームに身を包み、必勝を期して臨んだ。序盤に2点を先取されたが、逆転1アップでハーフタイムに入り、見事逃げ切った。アルティメットはプラスチックのディスクを投げ合い、エンドゾーンでキ

ャッチした得点を競い合う。決してメジャーなスポーツではないが、岡田主将は「風を読んで投げ、受け手は走りながらキヤッチする。敵はそれを阻止しようとする。攻守に多様なプレーがあり、各選手の特長が生かせるスポーツ。ダイビングキヤッチなどダイナミックなプレーは見ているだけでも楽しい。多くの人に知ってもらいたい。ぜひ」と誘っている。女子は1995年にサークルとして発足し、2008年に部に昇格した。サークル時代の02年にインカレ初優勝している。現在は岡田主将、加藤咲希選手(スポーツ科4、熱田)の2人が日本代表になっている。練習は週4回。豊田市内のグラウンドを借りて行っている。今でも初優勝のメンバーだった渡辺美奈さん(2003年度体育卒)が指導に訪れるなど先輩と後輩の絆も強い。



さくらジャパンを支援した瀧教授(右から2番目)とゼミ生たち

五輪 さくらジャパン支援 工学部 瀧ゼミ生 対戦相手の動き分析

工学部メディア工学科の瀧剛志教授のゼミ生たちがこの夏、リオ五輪に出場したホッケー女子日本代表「さくらジャパン」の対戦相手の動きを分析し、日本チームを支援した。瀧教授は、「人の動きを捉える映像処理」の分野で、サッカーなどの競技映像から様々な解析を手がけてきた。それを知った女子ホッケー日本代表の永井祐司監督から知人を通じて協力依頼があり、「ゼミ生の勉強にも刺激にもなる」と快く引き受けた。

ホッケーはベナルティコーナー(PC)と呼ばれる特有のセットプレーがあり、得点の5割以上を占める。「PCの際の相手選手やボールの動きを最新技術の解析で試合に役立てたい」というのが永井監督の希望だった。学生の大半はホッケーと無縁だったが、「五輪関係の手伝いができるのはすごい」と6月から準備にかかった。岐阜県各務原市での国際試合に出かけ、試合を俯瞰する映像を撮影、選手やボールの位置、動きを示すソフトを作った。そして五輪本番。リーグ4敗の予選リーグ敗退で「それなら先輩に引き継ぎたい」と笑顔を見せた。

スポーツミュージアム リオ五輪参加メダル公開 第2回プレ・オープン展示



2020年東京五輪・パラリンピックまでに開設するスポーツミュージアムは、梅村学園・同展は日本オリンピック委員会(JOC)とNPO 想会議の主要事業の一つ。

計画になっている。スポーツ科学部の来田亨子教授、現代社会学部の亀井哲也教授、工学部の瀧剛志教授が中心となり、史料の収集・保存、調査、展示方法の開発など学際的な研究を進めている。今回の展示は、「スポーツがつなぐ世界」学びと支援が高める共感」をテーマに、研究成果の一端を披露した。梅村学園100周年記念事業のイベントに

も位置付けられた。特に五輪の「参加メダル」に注目し、リオ五輪出場選手代表の寺本明日香選手、リオ・パラリンピック陸上400メートルリレー3位の佐藤圭太選手(2013年度体育卒、トヨタ自動車)の銅メダルと参加メダルを展示。1930年第3回女子五輪に日本初の女子代表選手団として出場した梅村すみ子先生(現総長・理事)の参加メダルなども公開した。このほか、リオ五輪出場した本学関係者の公式式典用ウェアやユニフォーム、64年東京大会で展開されたオリンピック教育の史料、支援企業の活動記録なども紹介した。史料のデジタル化のデモンストレーションも行った。見学者は本学を含めた五輪の足跡に感嘆した人が多かった。

め、小野晃幹、鈴木豪士、業は大変でしたが、日本代表のためにやっていると、う充実感がありました」と振り返る。永井監督は「本当にありがたい支援でした。東京五輪では巻き返したい。ぜひ、協力を」と話している。さくらジャパンは1分、伝え聞いた学生たちも「それなら先輩に引き継ぎたい」と笑顔を見せた。

先輩NOW

HC名古屋ヘッドコーチ 新井 翔太さん

HC名古屋は2002年にクラブチームとして発足した。選手たちは協賛企業などの社員として仕事をこなし、終業後に集まって練習に取り組んでいる。また、飛騨高山以外の5チームからの勝ち星はないが、かつては60連敗の記録を断つた。今春まで1年間、文部科学省の海外留学促進制度「トビテ！留学JAPAN」を利用して、ハンドボール発祥の国ドイツで学んだ。



ハンドボール文化築きたい

ハンドボールの日本リーグ女子チーム「HC名古屋」のヘッドコーチ(監督)に、今季26歳の若さで就任した。チームの本拠地は名古屋市。ハンドボールファンならば「あの連敗続きの」と思う人もいるかもしれないが、れっきとした我が国最高位の7チームが所属する日本リーグの一員である。チームを率いて早速、リーグ戦で実績を残した。9月17日の開幕戦目、飛騨高山ブラックブルズに本拠地プレーヤー体育館での飛騨高山戦でも20-17で勝利し、前期を終えて2勝7敗で6位につけている。今春まで1年間、文部科学省の海外留学促進制度「トビテ！留学JAPAN」を利用して、ハンドボール発祥の国ドイツで学んだ。

2012年度体育学部卒業。14年度体育学部長。15年度体育学部長。16年度体育学部長。17年度体育学部長。18年度体育学部長。19年度体育学部長。20年度体育学部長。21年度体育学部長。22年度体育学部長。23年度体育学部長。24年度体育学部長。25年度体育学部長。26年度体育学部長。27年度体育学部長。28年度体育学部長。29年度体育学部長。30年度体育学部長。31年度体育学部長。32年度体育学部長。33年度体育学部長。34年度体育学部長。35年度体育学部長。36年度体育学部長。37年度体育学部長。38年度体育学部長。39年度体育学部長。40年度体育学部長。41年度体育学部長。42年度体育学部長。43年度体育学部長。44年度体育学部長。45年度体育学部長。46年度体育学部長。47年度体育学部長。48年度体育学部長。49年度体育学部長。50年度体育学部長。51年度体育学部長。52年度体育学部長。53年度体育学部長。54年度体育学部長。55年度体育学部長。56年度体育学部長。57年度体育学部長。58年度体育学部長。59年度体育学部長。60年度体育学部長。61年度体育学部長。62年度体育学部長。63年度体育学部長。64年度体育学部長。65年度体育学部長。66年度体育学部長。67年度体育学部長。68年度体育学部長。69年度体育学部長。70年度体育学部長。71年度体育学部長。72年度体育学部長。73年度体育学部長。74年度体育学部長。75年度体育学部長。76年度体育学部長。77年度体育学部長。78年度体育学部長。79年度体育学部長。80年度体育学部長。81年度体育学部長。82年度体育学部長。83年度体育学部長。84年度体育学部長。85年度体育学部長。86年度体育学部長。87年度体育学部長。88年度体育学部長。89年度体育学部長。90年度体育学部長。91年度体育学部長。92年度体育学部長。93年度体育学部長。94年度体育学部長。95年度体育学部長。96年度体育学部長。97年度体育学部長。98年度体育学部長。99年度体育学部長。100年度体育学部長。

縁の下の力持ち「主務」

就活でも経験生かす

体育会各クラブのマネジャー「主務」は、選手たちの競技活動を支える縁の下の力持ちだ。遠征の段取り、練習の準備などクラブ全体のために献身的に走り回った経験は、就職活動でも生かされている。今年の就活で大手企業の内定を得た3人の主務を紹介する。

男子バスケ 浅井千香子主務

「最大の力を発揮」

バスケットボール部男1ツ科4、名東(名東)は名古屋子の浅井千香子主務(スポ 銀行の総合職に内定している。



名古屋銀行内定

高校時代はバスケの選手だったが、怪我したこともあって大学ではマネジャーに。練習の段取りや支援、試合の分析などチームのために動いた。遠征や合宿の時は宿舎や交通の手配をこなした。大学で高校10校の合宿を受け入れた際、食事の内容や提供時間を各

陸上競技 石井瑞希主務

「専門学校1年通う」

陸上競技部女子の石井瑞希主務(スポ1ツ科4、足利女子)は、全日本空輸のキャビンアテンダント(C



全日空CA内定

陸上競技の経験はない。海外の空を駆け巡る。「スポーツビジネスの世界で働きたい」と競技スポーツ科を選んだ。入社後、先輩から「人とのかわり合いを求めて」レベルの高い選手がひしめく陸上の東海学生大会で3位となり、主務として賞状を受け取った。写真。

将を兼務した。試合中はベソチから「走れ」「リバウンド」と大声を出し、選手たちを鼓舞してきた。今春の東海学生大会で3位となり、主務として賞状を受け取った。写真。

硬式野球 菱田周平主務

「地道に努力をする」

硬式野球部の菱田周平(スポ1ツ科4、富田)は名古屋鉄道への内定を得た。子供のころからの鉄道ファン。「人となりが仕事に繋がります」と、駅員や乗務員など接客も多岐にわたる。努力する姿勢が認められて、3年で主務になった。「チームに愛着がわき、居場所ができた」と喜びを語った。



名古屋鉄道内定

交通の手配やメンバー表の記入など主務の仕事に。面接では「旅行会社もいいため、履歴書の字が丁寧」などと褒められたという。

嘉義大と親善試合硬式野球

勝大会)決勝で、中京大京高校の前身である中京商業学校と嘉義大の前身、嘉義農林学校が対戦した試合を、85年の時を経て再現した。



8月1日、名古屋市のパロマ瑞穂球場での初戦に先立ち七レノ二が行われた。中京大の安村仁志学長が「日本ではもうすぐ甲子園大会が始まります。ベストを尽くしましょう」とあいさつ。嘉義大の邱義源学長は「85年の歴史の縁で試合が実現できたことに感動しています」と述べ、両学長が「さらに交流を発展させていきたい」と握手を交わした。

学生アスリートに奨学金

梅村学園と東海東京FH 包括連携協定を締結



協定を結んだ梅村総長・理事長(左)と石田社長

梅村学園と東海東京フイナンシャル・ホールディングスは11月8日、包括連携協定を結んだ。同時に、同社の寄付金による学生アスリート育成奨学金を創設。2020年東京五輪・パラリンピックに向け、選手育成に役立つ。個別の企業と学園が協定に基づき、給付型奨学金を支給するのは珍しい。

協定はスポーツ文化あふれる地域づくりに貢献するため、教育・研究・文化の振興、人材育成、スポーツ振興・社会貢献などに両者が連携して積極的に取り組んでいくことを目的としている。

教員現役合格45人

スポーツ科学部、昨年上回る

公立学校の教員採用試験に現役合格したスポーツ科学部の学生は今年度45人(11月15日現在)に上り、昨年度(40人)を上回った。このうち31人がクラブやサークル活動をしており、体育会レクリエーション部は最多の4人が合格した。

レクリエーション部 クラブ最多の4人

レクリエーション部の4人は、スポーツ科学部4年の岩月拓拓さん(大府東)、大橋亮介さん(名城大附)、堀井優希さん(瑞陵)、森美優紀さん(向陽)。岩月さんと大橋さんは入学当初から小学校教員を目指し、教員の仕事に役立つ



(左から)堀井さん、大橋さん、岩月さん、森さん

選手 大晦日に世界王座戦 2階級制覇に挑む



大晦日に世界王座決定戦に臨む田中選手

経済学部3年のプロボクシングWBO世界ライト級1位モイセス・フエンテケア(メキシコ)との世界大会(全国中等学校野球優勝大会)が12月31日、岐阜県

田中選手は2階級制覇を達成する。田中選手はミニマム級王座返上後、5月28日に2階級王座奪取への前哨戦としてライトフライ級世界ランカーのレネ・パティラノ選手と対戦。6回KO勝ちし、年内の2階級制覇を目指していた。

この試合で痛めていた拳を悪化させ、試合間隔が空いたが、「けがを通してケアなどについて考えることができた。プラスになっ

た」と話し、「この階級で戦うことには自信はある。ただ相手は過去最強。一番の試合をしたい」と意気込みを見せた。

田中清詞・畑中ホクシンジム会長は「かつてない強敵だが、この試合はあくまでも通過点」と語り、田中選手も「まだまだ伸びしろがあると思っています。強い相手と最高のボクシングをやることができた。この階級の統一戦もやってみたい」と抱負を述べた。

試合は中京大が7-4で逆転勝ち、第2戦は雷雨で中止、最終戦は9-2で再び中京大の勝利となった。すでに第2回の親善試合が来年2月に台湾で行われることが決まり、交流の深化が進んでいる。

近づく平昌冬季五輪

期待高まる1年生3選手

2018年2月に韓国・平昌(ピョンチャン)で開催される冬季五輪まであと1年2か月余り。スポーツ科学部の1年生ながら、冬季競技で世界の舞台を知る、フィギュアスケートの宇野昌磨選手(中京大中京)、スピードスケート・ショートトラックの平井亜実選手(一宮北)、フリースタイルスキー・モーグルの堀島行真選手(岐阜第二)は期待のホープだ。今後の3人の試合動向が注目される。

フィギュア 宇野昌磨選手 世界トップと互角勝負

宇野選手の今季の戦い 優勝、ロシア杯は2位だった。ふりは目を見張るものがある。たものの、初日のSP(シ)を上回る得点を挙げた。GP(グランプリ)シリーズ ヨートプログラム)では総 Pファイナル(12月、フーズ初戦のアメリカ大会) 合優勝した世界王者のフェ ンス)進出も決め、シニア



ロシア杯で圧巻の演技を見せた宇野選手(アフロ)

参戦2年目にして世界のトップと互角に競っている。「GP2大会は自分なりのいい結果が出たと思いきや、ただ、トップ選手と争うには力不足を感じています」と決して満足していません。「ジャンプの完成度、の思いは強い。

モーグル 堀島行真選手 世界選手権が試金石



堀島選手 写真 堀島選手は、12月10日に開幕する2016-17ワールドカップ(W杯全11戦)の遠征メンバーに選ばれた。男子5人のうちの1人だ。高校3年だった昨年も代表メンバーに選ばれ、初戦で3位に入賞している。

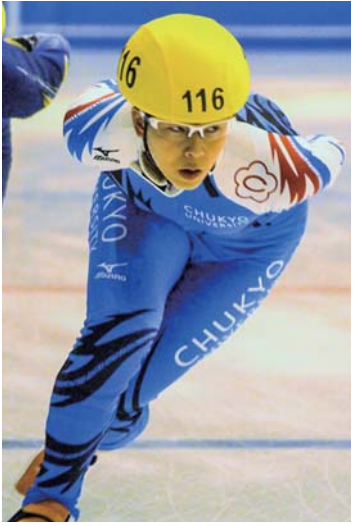
世界選手権が試金石

今年の開幕戦も同じフィンランド・ルカ。再び表彰台を目指す。「オリンピックこそが一番の目標」の堀島選手にとって今シーズンからの国際試合の戦いぶりが、平昌への道に直結する。「夏のトレーニングもしっかりと積みできました。今季は世界選手権もあり、上位を狙いた

安定感をもっと高めたい」と、練習の時からジャンプの成功率を高めるよう意識するようになった。海外の試合でも客席から「カンパレー」の声がよく聞こえる。日本人の応援は「いい」といい、飛行機の移動にも慣れた。

シヨートトラック 平井亜実選手 「ユニバで表彰台」

平井選手は、来年1月29日からカザフスタンで開かれるユニバード冬大会への出場を決めている。1月には全日本選手権も控え、全日本で総合6位以内、ユニバはぜひ表彰台を」と年末年始も練習に励むつもりだ。全日本ジュニア選手権し、その力を証明した。



今季好調な平井選手

ただ、9月に大学生の初戦として臨んだ全日本距離別選手権では8位入賞したものの、ワールド杯日本代表を逃した。来年1年が勝負だと思っています。悔いなく頑張り、その結果を良いものに使いたい」

学生団体競技の東海地区秋季リーグ戦が終了した。各クラブの戦いぶりや結果はさまざま、悲喜こもごもではあったが、硬式野球部とバレーボール部男子は、クラブの歴史に輝く足跡を残した。

硬式野球 34年ぶり3連覇 男子バレー 失セツトがゼロ

京大の3連覇は1981年秋から翌82年秋にかけて達成して以来、実に34年ぶり。他の5チームからすべて勝ち点を挙げる完全優勝でその快挙を成し遂げた。3連覇の要因の一つに挙げられるのが選手の層の厚さだ。ベンチも特定の選手だけに頼ることなく、選手の状態によって柔軟に対応した。

同窓生の皆様へ 「中京大学スポーツ」の次号以降につきましては、同窓生の皆様へは送付されません。この件の問い合わせは、中京大学校友会本部(電話052・835・7140、mailto:koyu@mng.chukyo-u.ac.jp)までご連絡ください。

Chukyo's COACH

空手部 田岡 達之監督



田岡達之監督(たおか・たつし)三重県南伊勢町出身。県立宇治山田高校ではサッカー部に所属。1976年に中京大学文学部入学。とあるは空手道部に入学。83年に空手道部代表として務めながら2007年に空手道部コーチに就任し、2013年就任2年目を務め、現在も東海をリードする。「全国大学ベスト8」が目標だ。

まずは技よりも礼儀作法

監督に就任して4年目に入った。今一度から全部員を入学時から監督として指導していることになる。その間、一貫して「礼」を指導方針の柱に掲げてきた。「昔から空手をオリンピック競技に採用を、と言ってきました。2020年東京大会での実現が決まり、感慨深いものがあります」と目を細める。空手がメジャースポーツになったことは素直にうれしい。「ただ、スポーツ感覚が先走り、勝敗ばかりが気になるようになったのではないかと。スポーツ性を、どういった判断が出やすいか」といった。持った武道が、武道性を持ったスポーツ(現代社会2 小林茉圭子)

幕のインカレに照準を合わせている。柔道部男子は全日本体重別団体優勝大会に東海地区を勝ち抜いて出場、本大会では惜しくも初戦敗退した。また、剣道部男子は東海学生優勝大会を制した。